

「CSIRT」の効果的な動かし方 実践編

～サイバー攻撃対策に特効薬はありません！～

- ★ 金融庁は、金融機関に対して情報セキュリティの監視・対策チームである「CSIRT」の設置と同時に、効果的に運用することを求めています。しかし、金融機関の多くは、CSIRT という組織設置で満足しています。CSIRT は、多くのインシデントに対して、従来の組織に比べて、より効果的に機能し、被害の極小化と適切な対応を実現するものでなければなりません。どうすれば動くのか、どう動かせば機能するのか、どうすれば効果的に動かすことができるのか。絵に描いた車を、本当に「動く車」にする方法を学ぶセミナーです。
- ★ 「CSIRT を検討している」、「現在構築中」、「すでに CSIRT を組織し運用している」など、金融機関の立ち位置に相違はあっても、CSIRT をセキュリティの要（かなめ）とし、「今後ますます複雑化、高度化するサイバー攻撃やフィッシング詐欺などにフレキシブルに対応できる組織にする」という目的は同じです。目的達成に必須の内容について学習します。「組織の器はある（もしくは作る予定）」、「しかし、どうにも動きそうにない」、「インシデント発生時はいつもドタバタしてしまう」、「これではいずれ金融庁からも……」と、心配な経営者や管理者にとって組織運営の大きなヒントになる、担当者にとっては行動指針となるセミナーです。

スペシャリストによる「短期特別集中講座」です

開催日：2019年2月19日（火）（1日間）

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：日本セキュリティ・マネジメント学会（JSSM）「先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会」主査

社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会（ACCS）技術顧問

萩原ITコンサルティング 代表

C F E（米国公認不正検査士）

萩原 栄幸 氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人全国地方銀行協会
一般社団法人第二地方銀行協会
一般社団法人全国信用金庫協会
一般社団法人全国信用組合中央協会

研修の狙い

金融機関のCSIRT組織を有機的・効果的に動かすために必要な知識、ノウハウを担当者、管理者、経営側など多方面の視点で学習・習得します。絵に描いた「車」(CSIRT)を実際に人を乗せて道路で動かし、急カーブや急ブレーキしてもエンストしない車にすることをめざします。

研修のテーマ

- CSIRTのメンバー、管理者、経営側、そして関連する部署など様々な視点でCSIRTの管理・運営に関する基礎知識の確認と実践・応用力が身に付くように指導します。
- IPA(情報処理推進機構)などが提唱し、金融庁が期待するCSIRTとはどういうものか? 自社のCSIRTで何が足りないのか? どうすべきなのか? などの組織上の問題点も踏まえながら、金融機関や他の業種・業態でいくつもCSIRTの構築や運用について実践してきた講師が平易に解説します。
- 技術的な解説は殆どありませんので経営側から担当者までどの目線でも役に立つようになっています。
- 金融機関で起きたCSIRTのトラブルについても事例で解説しますので参考にできます。

研修の対象

金融機関等に勤務し、セキュリティ部門の企画・開発、管理を担当している方、特にCSIRTの組織の担当者(担当が内定している方)、その管理者やCIO、CISOを含めた経営側、CSIRTに協力すべき他部署の方々など幅広く対象となります。特に今回は実践重視としますので全方位での方々が対象となります。

開催要綱

日時: 2019年2月19日(火) 1日間 (昼食は当方で用意します)

時間: 10:00~16:00 (受付開始9:30)

講師: 萩原 栄幸 氏 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM) 主査

会場: 第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

受講料: A: 41,040円(本体価格38,000円、消費税3,040円)

(CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員)

B: 44,280円(本体価格41,000円、消費税3,280円)

(後援協会会員機関)

C: 47,520円(本体価格44,000円、消費税3,520円)

(A、B以外の一般機関)

定員: 20人(最少開催人員10人)

◇講師プロフィール

萩原 栄幸(はぎわら・えいこう)氏

日本における情報セキュリティの第一人者。23年間三菱東京UFJ銀行に勤務。先端技術の調査・研究の実験室「テクノ巢」の責任者を務め、更に内部犯罪調査を現場で指導してきた。情報セキュリティ、内部犯罪、サイバー攻撃、スマホ、Fintech、IoT、仮想通貨、AIなどについて独自の検証を踏まえ執筆や講演活動を行う。NHKやフジテレビ等にも出演し、活動範囲を広め、2011年12月に世界で初めてAndroidのウイルス対策ソフトが論理上パソコン並みではないことをネット上で解説し世界の注目を浴びた。現在も地銀、信金、信組、JAなどの金融機関を主体にコンサルティングを実施し、実践で改善を行い、地域オンリー1を目指すよう精力的に指導している。CSIRTは、この2年間だけでも3つの金融機関のサポートを実践。 [照会先は jssm@hoshizora.jp](mailto:jssm@hoshizora.jp)

【講演・セミナー】 個別の銀行、信金、信組などでも多数の講演やコンサルティング実績を持ち、12年にはベトナムのハノイで民間銀行2行向けセミナーを開催。日本セキュリティ・マネジメント学会では12年11月の学術講演会(スマホがテーマ)の座長を務め、13年3月の総務省、経済産業省後援による「遠隔操作ウイルス」をテーマに公開討論会の座長兼司会を務める。13年6月の学会全国大会では「サイバー攻撃」をテーマに副大会実行委員長となり、個別に論文発表も行う。2014年11月の学術講演会(内部犯罪がテーマ)でも座長兼講師として活躍している。

2016年も第一回情報セキュリティ・サミットや日本内部監査協会の全国大会など多数の講演を行っている。

数多くのテレビ、ラジオ出演の実績と数百以上もの新聞・雑誌などでの解説もあり、出版も多数。

【カリキュラム】

2月19日（火） 10：00～16：00 （受付開始9：30）

第一章 釈迦に説法だと思いがすが・・・CSIRT概説

ここでは、金融庁指導や経営側の指示で構築（予定を含む）してきたCSIRTについてその歴史と従来型組織との違いを解説します。
また一部の金融機関では「悪性新生物」の様に扱われたり、「バーチャル（架空）CSIRT組織」として構築したものの数年後自動消滅してしまった企業などについてその「事実」と「問題点」について解説します。

第二章 CSIRT実践編 その1

政府主導の（架空の）サイダー省をトリガーにしたサイバー実習演習や金融ISAC主導での演習を何回も経験した金融機関でも落とし穴がいくつかありますのでその実践的知識を伝承します。

第三章 CSIRT実践編 その2

- ケース1：内部犯罪らしきログの形跡が！！
でも定義上、内部犯罪はインシデントではない
- ケース2：午前1時にアラームが発動！！
日中でも不安なのにこんな時間に！
- ケース3：実習演習があまりにも形骸化！！
こんなんで、本番時乗り越えられる訳がない
- ケース4：インシデントは小さなものばかり・・・経営側から効率化の観点で予算や人員の削減の指示がきた！

第四章 CSIRTの組織運営の勘所とは？

地方の金融機関の9割が「専門家不在」「スキルが殆どない」「兼任者しかいなくて専任者がゼロ！」・・・こうした現実を踏まえ、どうやって万一の重大インシデントに対応し（最も重要なことは）①被害の極小化②金融庁などの監督官庁が納得出来る行動・・・を実践できるのか？
当然経営者の理解が欠かせないのですが、経営側、管理者側、担当者側、そして一般の職員側でのそれぞれの視点で今の自社に鎮座する問題点の把握とその改善に向けた行動プランの構築と、そして実践するヒントを提示します。

Q&A

(※) 昼食休憩は、12時から13時までです。

092

第25回 金融機関 情報セキュリティマネジメントセミナー

「CSIRT」の効果的な動かし方 実践編

～サイバー攻撃対策に特效薬はありません～

ホームページ用受講申込書 (2019年2月19日開講)

貴社名

所在地 〒

連絡責任者

部署・役職

TEL

FAX

	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

☆受講料 A: 41,040円 (本体価格 38,000円)

(CMC金融機関機械化研究会会員機関および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員機関)

B: 44,280円 (本体価格 41,000円) (後援団体会員機関)

C: 47,520円 (本体価格 44,000円) (上記A,B以外の皆さま)

【問合せ先】 CMC: TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042
 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1279478
 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1627070
 (名義) 株式会社 CMC 振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

- 受講についてのお願い -

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振り込み下さい。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求番号の下3桁(枝番数)を付してください。振込手数料は、貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日前、一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演の録音・撮影、ならびに携帯電話・パソコンのご利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合があります。